

Techミーティング

鹿児島大学の研究者と対話できる「場」を定期的で開催し、産学連携のきっかけをつくることで企業の抱える技術的な課題解決をサポートし、**新しいビジネスの創出**を目指します。

《第7回》

日時

2022年12月15日(木) 14:00~15:30

場所

mark MEIZAN 2F
ユーティリティスタジオ(鹿児島市名山町9-15)

募集対象

産学連携に興味のある事業者



定員
10名
参加費無料!

発表テーマ

地場水産資源を活用した地域水産業の生き残り戦略

研究シーズの概要

水産物は、漁獲量や魚種、品質などが安定せず、価格も大きく変動します。当研究室では、水産物の生産や流通、加工から消費に至るまで、実態に合わせた一連の流れを研究し直面している課題の把握を全国規模で進めています。私自身、冷凍技術を用いた地場資源の活用に関心を持ち、岩手県の企業との共同研究にも取り組んでいます。今回は、そうした実際のビジネスモデルについてお話しするとともに、皆様が直面している現場の課題についても意見を交わしたいと思います。



PROFILE

鹿児島大学
水産学部水産経済学分野 助教

鈴木 崇史 氏

長野県生まれ。東京大学大学院博士後期課程修了(農学博士)。博士号取得後は、東京大学特任研究員として、日本産水産物の輸出促進に関する研究に従事。その傍らで岩手県の水産加工会社のリサーチャーとして、冷凍刺身商材の輸出業務や生産者の海外市場見学を支援する。2020年10月に、鹿児島大学水産学部の助教に就任。

研究内容

地域水産業の生き残り戦略の研究: 冷凍技術を用いたニッチ市場での生き残り戦略とは。

水産物消費の研究: 消費者が魅力を感じて購買する水産商材のあり方とは。

水産物流通の研究: 卸売市場流通や市場外流通の実態・課題とは。

水産加工業の研究: 加工会社の経営における実態・課題とはどのようなものなのか。

企業の取組に対して協力できる主な事項

- 冷凍技術等を用い、地域資源の実情に応じた水産事業の提案
- 一般消費者や飲食業関係者の意識調査を通じた商材へのニーズ把握
- 水産物流通に関する教育

シーズ活用に期待が持てる企業

地場水産資源の経済価値を高めたい漁業協同組合等の生産者団体。加工会社。自治体。水産物流通の全国的な動向に関心がある、または自社商材に対するユーザーの評価やニーズを明らかにしたいと考えている水産関連会社。

キーワード▶ 水産業/地場水産資源/マーケティング調査/流通/冷凍技術



申込締切 2022年12月12日(月)(先着)

下記QRコードまたはURLから申込フォームを入力いただくか、必要事項をご記入の上、FAXまたはE-mailでお申し込みください。
「かごしまTechミーティング運営事務局」(株式会社鹿児島銀行地域支援部地域開発室内)

申込フォーム ▶ https://lthb.f.msgs.jp/webapp/form/22813_lthb_71/index.do

F A X ▶ 099-223-0852

E-mail ▶ kaihatsu@ml.kagin.co.jp

ご参加お申し込み事項

貴社名 ▶ 貴社名: /主たる業種:

本社所在地 ▶

ご参加者① ▶ 所属部署 :
役職 : 氏名 :ご参加者② ▶ 所属部署 :
役職 : 氏名 :ご連絡先 ▶ 電話番号 :
E-mail : @その他 ▶ 産学連携(共同研究・受託研究など)の実績:あり / なし
先生への質問・相談したい内容など、ありましたらご記入ください。

- 本企画は、「鹿児島市新産業創出支援業務」として、鹿児島市から委託を受けた株式会社 鹿児島銀行が運営しています。
- ご記入いただいた個人情報、本企画に関する業務のみ使用します。
- 会場には駐車場がありませんので、お車でお越しの際は、お近くのコインパーキングをご利用ください。
- ご参加の際は、必ずマスクを着用いただくとともに、咳エチケットの励行、会場入室時の検温や手指の消毒等、新型コロナウイルス感染症防止対策へのご理解とご協力を頂けますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。